

Ms. Kanamori went to Canada for about one year to study English. She spent five months studying at a language school and six months studying at a business school. At the business school, Ms. Kanamori was able to take part in an internship. She is very happy about her time in Canada and is now looking forward to a bright career after graduating this year!



～カナダ留学で～
コミュニケーション学科 4年
金森 日和 Hiyori Kanamori

私にとってカナダの留学は、自分の視野と可能性を広げる挑戦でした。困難な事も少なくありませんでしたが、多くの出会いに支えられ、充実した留学生活を送る事ができました。これらの出会いをこれからの力にし、次の目標へと向かっていきたいと思います。



●なぜ長期留学をしようと思いましたか？

金森 過去に1.2週間という短い期間の留学はしていますが、やはり短期では味わえない体験や現地の生活を経験したいという思いが強かったです。また、長期間海外で生活することで、ビジネスに必要な英語やコミュニケーション力を身につけることができるのではないかと考えました。

●なぜ留学先にカナダを選びましたか？

金森 カナダ英語はなまりが少ないと言われていて、そのためきれいな英語を身につけられるのではないかと考えました。また、カナダは新しくできたばかりの多国籍な国と言われているため、他の国よりも色々な要素、多文化だったり暮らす人々だったりを含んでいて、様々な知識や体験を得られるのではないかと考えました。



●留学先では何をしましたか？

金森 主に、語学学校、ビジネス専門学校に通いました。3か月のホームステイの後はシェアハウスで生活しました。ビジネス専門学校では、私はビジネスを学んでこなかったもので、ついていくのが大変で毎回の先生に質問をしていました。

●一番印象に残っていることは何ですか？

金森 シェアハウスです。ほかの国の、様々な文化を持った人々と過ごす日々が楽しかっただけでなく、言語の壁を乗り越え、お互いに理解しようとするコミュニケーションに励み、交流を深めた日々がとても印象に残っています。自分を成長させてくれる場面でした。

●留学を通して得たことは何ですか？

金森 もちろん英語力は上がりました。はじめは言語の壁にぶつかり悩んだこともありましたが、そこを乗り越えて自分から進んでいこう、頑張ろうと、聞き取ろうと頑張りました。そうしていくことでコミュニケーション力が上がっていったと感じています。また、留学したことで視野が広がりました。カナダの生活を知らただけでなく、日本の文化の大切さや日本人の消極的な一面など改めて日本という国を考えることができました。そして自分自身のことを見つめなおす良い機会となりました。



インタビューを終えて

コミュニケーション学科 2年

前田 芽里 Meri Maeda

インタビューを終えて、一番伝わってきたのは「楽しかった」というひよりさんの思いです。もちろん困ったことや辛いこともあるとおっしゃっていましたが、それよりもホストファミリーやシェアハウスの仲間たちとの生活や学校での授業が自分を成長させてくれたようです。楽しそうに語るひよりさんの姿を見て、私も留学してみたいと思いました。カナダでの生活やそこで得たものを生かしてぜひ仕事を頑張ってくださいと思います。



My Experience Studying Abroad

～パース(オーストラリア)への留学!～

Junior, Department of Communication
Saki Kurokawa

I studied English at a language school in Perth, Australia for a year. During that period, I always tried to communicate with people from several countries. In the end, I succeeded in making many friends and thanks to them, my life in Perth was absolutely brilliant. Throughout this experience, I continued to develop as a person. I will always look back fondly at my time in Australia. Now, it is time to plan my next adventure!



～キャンベラ(オーストラリア)への留学!～

コミュニケーション学科 3年
出口 侑佳 Yuka Deguchi

私はオーストラリアのキャンベラで8ヶ月間語学学校に通っていました。学校が始まってすぐ友達もでき、ルームメイトとも仲良くなり、とても楽しく充実した留学生活になりました。勉強面では毎日課題も多く大変でしたが、クラスの友達と放課後に図書館で勉強していたので、大変だった事も乗り越えられました。沢山の事をこの留学を通して学べました。



Center Comments [編集後記]

This year was a wonderful year for the English Education Center. We had two separate visits from abroad. In June, students from California State University, Fullerton and in July, high school students from Fullerton City came to Jin-ai University. On both occasions, the students enjoyed a day full of cultural exchange activities. These were great opportunities for both groups to mutually deepen their cross-cultural understanding of one another. We hope that the next year will be equally fruitful with many more fantastic and unforgettable memories.

EEC Staff



Essential Information



新たな自分を見つけて未来へ羽ばたく。

英語教育センターとは

学部共通科目「英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「姉妹校フラトン校留学プログラム」「特別クラス」「公開講座」などの運営実施を通じ、本学学生の英語力および異文化理解力の向上を目指しています。



TOEIC® テストを全学で導入しています！

本学の英語教育の指針として、TOEIC L&R® Testを全学規模で導入しています。1年次には、入学時のプレースメントテストとしてTOEIC Bridge® Testを、後期のアチーブメントテストとしてTOEIC® Testを、全員が受験します。2年次以上は年2回TOEIC® Testを学内で受験するチャンスがあります！

TOEIC® IP Test受験のメリット

① TOEIC® IP スコアコンテスト

2020年度もスコアコンテストを開催します。「学科選抜賞」(各学科上位2名ずつ(計8名))、「学長賞」(「学科選抜」入賞者の最高スコア獲得学生)を授与します。TOEIC® IP Test受験者は、自動的にスコアコンテストにエントリー(1年次プレースメントテストおよびアチーブメントテストは対象外)。ふるってTOEIC® IP Testに挑戦してください。

② 留学プログラム助成金(人間学部対象)

TOEIC® IP Test受験者は、仁愛学園後援会による留学プログラム助成金を受けることができます。

●「フィールドワーク演習(国際交流)」…………… 5万円程度
※助成人数や受験年度など詳細については、英語教育センターまでお問い合わせください。

2020年度 TOEIC IP® Testは6月と10月に実施予定です。詳細は追ってご連絡します。

TOEIC® IP Contest Award Ceremony

2020年1月21日(火) 12:30～12:50 E-301(E-Lounge)において令和元年度TOEIC® IPスコアコンテスト表彰式が行われました。マシュー・ハウカ英語教育センター主任の司会で紺渡弘幸英語教育センター長から入賞者一人ひとりに賞状と副賞が、田代俊孝学長より最優秀者に学長賞が授与されました。田代学長、石川・杉島両学部長、大河学科長他、受賞した学生の指導の先生方も出席していただき健闘を称えていただきました。



心 理 学 科 豊田 萌々香(1年) 健康栄養学科 酒井 摩耶(3年)
心 理 学 科 小林 伊織(1年) 子ども教育学科 早川 葵(1年)
コミュニケーション学科 野村 春華(3年) 子ども教育学科 大井 萌衣(2年)
コミュニケーション学科 笹木 瑞希(4年)



学 長 賞 コミュニケーション学科 野村 春華(3年)

Wonderful Memories of 2019

Visitors from the United States of America

～ 姉妹校カリフォルニア州立大学フラトン校学生との国際交流 ～

6月15日(土)～6月19日(水)の間、本学姉妹校である米国カリフォルニア州立大学フラトン校(the California State University, Fullerton)より、同校の垣原智子先生と学生18名が福井を訪れ、本学の学生と日本文化体験ツアー(6/15永平寺・朝倉氏遺跡・うるしの里会館)、合同授業(6/17・18)、Experience Japanese Cultural Arts Hands-on(6/18 和太鼓・よさこい・茶道)を行いました。この文化交流プログラムは、本学とフラトン校の関係を強化するとともに、異文化理解を深め、英語によるコミュニケーション力の向上をはかり、グローバルな視点を養うことを目的としており、たいへん有意義な交流になりました。



参加学生
の声

Sophomore, Department of Communication
Yukia Watanabe

Amazing Experiences with CSUF Students

I had wonderful, valuable, and unforgettable experiences in June 2019. Eighteen students and Ms. Kakihara from CSUF came to Jin-ai University for three days on an international sister-school exchange program. We went to Eihei-ji Temple, Ichijodani Asakura Clans Ruins, and experienced making Echizen Lacquerware. Also, we ate shabu-shabu in a restaurant together. I showed them how to eat it and we enjoyed talking with each other in English. At the university, we had some classes and ate lunch together in the cafeteria. The Yosakoi, Wadaiko, and Tea Ceremony groups fascinated students with their performances. Thanks to this opportunity, we could share our own countries' cultures and histories with each other. I made friends with all the students from CSUF and enjoyed talking with them, and of course, I could improve my communication skills in English. Every student was so kind. Their visit had a big impact on me. I was really glad to meet them, and I will never forget these memories.



～ カリフォルニア州フラトン市高校生生の訪問 ～

7月16日(火)に本学・フラトン姉妹市高校生11人、引率の Ms. Leah Yamamoto, Mr. David Krausman、ふくい市民国際交流協会の松成由美さんが来学されました。合同授業や、本学学生による大学紹介や日本文化についてのプレゼンテーションと質疑応答を行ったりして交流し、相互理解を深めました。



参加学生
の声

コミュニケーション学科2年
竹村 優花

フラトン市からの訪問団の人たちと交流してとても充実した時間を過ごしました。授業では、アメリカと日本の違いをテーマにクイズや早口言葉をして大いに盛り上がりました。また、学校生活や趣味などの話をしながら、食事を楽しみました。英語を用いて、コミュニケーションをとることの楽しさを感じ、異文化に触れる良い機会となりました。



Jin-ai University's Overseas Programs

～ カリフォルニア州立大学フラトン校留学プログラム ～

2019年9月4日(水)～9月18日(水)に、本学姉妹校であるカリフォルニア州立大学フラトン校での「フィールドワーク演習(国際交流)」(2週間プログラム)が行われました。人間学部心理学科3年生1名・1年生1名とコミュニケーション学科2年生3名の合計5名が参加しました。

日本語コースでの「日本・福井・仁愛大学」に関するプレゼンや日本語指導助手、歴史学科での授業参加、英語による異文化セミナー受講、日本文化クラブでの活動参加など、現地の学生や先生方と交流する時間をもちました。また、フラトン市姉妹都市協会主催の週末ホームステイでアメリカ人家庭に滞在したり、ロサンゼルス・ティズニールランド観光をしたり、アメリカ文化体験も行いました。



～ カナダアルバータ大学留学プログラム ～

2019年8月9日(金)～9月1日(日)に、新たにカナダアルバータ大学(University of Alberta)での3週間プログラムが実施され、コミュニケーション学科2年生1名が参加しました。



English Clubs

～ 英語力の向上を目的とした英語クラブを行いました ～

● TOEIC 10% Up Club

学科・学年が異なるクラブメンバーと毎週集まって勉強することで、楽しみながらTOEIC®受験に向けての準備を進めました。



● Extensive Reading Club

自分が選んだ好きな英語の本を読んで、英語で内容を紹介したり、感想を話したりしました。



EEC's Halloween Event

世灯祭では、今年もハロウィーンイベントを開催しました。スタッフで話し合いながら考えた企画で英語教育センターに来場してくれた方々が、楽しそうに笑顔になっていて、嬉しかったです。世灯祭では普段、関わる機会が少ない地域の方々といふれあう良い機会であったと思います。

参加学生
の声

コミュニケーション学科1年
牧野 早峰

ハロウィーンイベントではカードゲームやビンゴ大会を行い、子どもたちはとても楽しんでくれました!私はゲームのリーダーを担当し、企画、制作などを明確なビジョンや目標を持ちながら、達成することができました。次回は子どもと大人が楽しめる企画を実現させたいです。

参加学生
の声

コミュニケーション学科1年
伊井 逸華

世灯祭では、今年もハロウィーンイベントを開催しました。スタッフで話し合いながら考えた企画で英語教育センターに来場してくれた方々が、楽しそうに笑顔になっていて、嬉しかったです。世灯祭では普段、関わる機会が少ない地域の方々といふれあう良い機会であったと思います。



Special Lecture

～ NHK大学セミナー「バックン・マクソンの英語にThank you」～



9月26日(火)にバックン・マクソンの講演を開催しました。軽妙な2人のやりとり、全く英語が話せなかったマクソンが話せるようになった体験談など、学生諸君にはたいへん参考になる話でした。



Open Classes [公開講座]

本学地域共創センターと連携し、英語教育センタースタッフによる公開講座を実施しました(2019年度開講講座は下記の通り)。2020年度も一般英会話・児童英会話等の講座を開講予定です。EECと一緒に英語を楽しみませんか。



2019年5/13～6/17・全6回開講
●「英語で話そう」
講師: マシュー・ハウカ/ロバート・ダイクス
〈参加者の声〉
毎回とっても楽しく学ばせていただいています。おもしろく分かりやすく親切な講座です。



2019年10/5・10/19・全2回開講
●「Sing Say Play!」
講師: マシュー・ハウカ
〈参加者の声〉
とても楽しかったです。はすかしがり屋の子どもも「yellow」とちゃんと覚えて、優しい先生方の雰囲気、楽しそうでした。